

安全運転支援装置に補助 高齢者向け 重度障がい者に府独自の就業支援を 9月定例会 公明党府議団代表質問より

9月26日に始まった令和元年9月定例会で、公明党大阪府議会議員団は府政の諸課題に対し、府民の立場から議論を展開しました。10月3日には中村広美議員(政調会長、大阪市住吉区選出)が代表質問に立ち、高齢運転者の安全対策や重度障がい者の就労支援などについて質疑・質問をしました。詳細は以下の通りです。



▲代表質問する中村議員(府議団政調会長)

一定の条件で来年度実施へ 高齢運転者の安全対策



高齢者の事故防止に免許の自主返納を促すことも重要だが、生活上運転せざるを得ない人もいるため、個々の状況に応じて車の安全運転支援装置の設置を補助するよう府に求めました。府は緊急対策として、来年度から75歳以上で認知機能低下のおそれがある人を対象に装置の設置補助をしたい、との考えを示しました。

対象者と支援内容を検討 重度障がい者の就業支援



国の重度訪問介護制度を使った場合、就労中は食事や外出などの支援が受けられません。国に先駆け、府独自の就業支援を「市町村と連携し、モデル的に実施すべき」と提案しました。府は独自の支援制度について対象者の範囲と支援内容などを検討していると答弁しました。

特別支援学校の福祉避難所指定へ 働きかけを



災害時に府立特別支援学校に通う児童・生徒やその家族らが安心して避難生活を送れるよう、市町村に働きかけて福祉避難所に指定してもらうことを府に求めました。府は現状の7校から指定が進むよう取り組む考えを示しました。

命を守るハード、ソフト両面の災害対策強化を

・討論より・

10月25日の本会議で上程議案や府政の諸課題に対し、公明党府議団の意見を表明する「討論」をしました。概要は以下の通りです。

●災害対策水害

想定を上回る水害が頻発していることを踏まえ、命を守るハード、ソフト両面の災害対策の強化を。難病や慢性疾患等の患者向けの医療・医薬品の提供体制の整備、液体ミルクの備蓄等の災害時の要配慮者対策を進めるべき。

●森林環境税

森林環境税を使い、危険渓流の流木対策を進めるとともに、熱中症の発症リスク低減に向けた取り組みをすべき。

●ギャンブル等依存症対策

IR(統合型リゾート)開業に向けては、環境アセスメントにかかる現況調査より、府民が不安に感じているギャンブル等依存症の取り組みの方が重要。実態把握を早急にすべき。

●文化・スポーツ振興

府民の文化芸術活動やスポーツへの支援は大阪の成長に不可欠。

2021年にはワールドマスターズゲームズが府内5市をはじめ関西一円で開かれる。一層文化・スポーツ支援を充実すべき。



公明党大阪府議会議員団ホームページはこちら。
▶ <http://www.komei-fu.com>

